



新年明けましておめでとーございます

子どもたちに平和な未来を！

平和で新年を迎えられたことは嬉しい事です。ゆっくりしようとテレビをつければ新年もウクライナやガザの様子が映し出され、国内では軍費の増額や敵基地攻撃能力の保有と戦争国家づくりが進みつつあり心が折れそうになってしまいません。

昨年の10月、平和のための戦争展実行委員会では「平和の集い・のだ」の中で、三上知恵監督の「沖縄、再び戦場へ」の予告編を上映しました。沖縄の宮古島や石垣島など軍備の現状を突きつけた内容でした。大メディアでは報じないことが多い事に驚きます。戦争を体験した者として、戦時中にあるようにラジオで国民を戦争に駆り立てた大本営発表を思い出します。

また朗読の会のグループが、広島・長崎の被爆体験を小学生と高校生の11名と大人9名で公演しました。出演した小学生と戦争について話し合った時、私達人人が思っている以上に子ども達は世界の現状を知っていることに戸惑いました。

私たちは、ウクライナやガザで戦争が行われている世界の現状をしっかりと見つけ、次の世代に平和な世界を手渡す行動をしなければいけないと思います。

野田・九条の会呼びかけ人

武智多恵子



今月の予定です

<コロナの感染状況で変更・中止することがあります。>

1月 8日 (月・祝) 9:30 ~ 11:00

新成人に九条通信配布
文化会館駐車場入り口 野田・九条の会

1月 13日 (土) 13:30 ~ 16:00

野田・九条の会 DVD「第5福電丸」を視聴 & 意見交換
1月例会
中央公民館 講座室 野田・九条の会

1月 14日 (日) 13:30 ~ 16:40

DVD 視聴と意見交換 「フーチンとゼレンスキー ロシアとウクライナの100年」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

1月 19日 (金) 13:30 ~ 15:30

ちょっと暖かな「おしゃべりカフェ」
社会や政治のことなど気軽に
おしゃべりしましょう。
イオンノア 3階 市民活動第2会議室 野田・九条の会

2月 4日 (日) 13:30 ~ 16:40

DVD 視聴と意見交換 伊藤野枝・大杉栄殺害事件「風よあらしよ」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

2月 14日 (水) 9:00 出発

バスで研修旅行「都立第5福電丸展示館」
江東区 夢の島 野田・九条の会

ご案内



《日本国憲法第99条》

憲法を守るのは誰？

何なに

日本国憲法第99条は「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務をおふ。」とし、主権者である国民が権利や自由を守るため国家権力を持つ者に、憲法を守るよう命じています。

自民党改憲草案は「すべて国民は、この憲法を尊重しなければならない」に変えています。「臣民はこの憲法に対して永遠に従順の義務を負ふべし」とした大日本帝国憲法の考えに有った国民の自由を抑圧する内容に変えていきたいようです。

米国の核実験で被曝した「第5福電丸」の展示施設を見学、説明も聞きます。詳細は2月号、チラシで。



昨年12月の例会では

DVD「寺島実郎の世界を知る力」を見てガザ攻撃について考えました。<以下、意見の一部です>

- ▶ ハマス、イスラエル問題は宗教がらみで日本人には理解しづらい
- ▶ ユダヤ人は優秀、米国で起業、金融業などで成功している
- ▶ 中東からの原油輸送で先月号の輸送船の話は良かった
- ▶ 日本は台湾問題で米中覇権争いに巻き込まれようとしている
- ▶ 沖縄本島ほかに基地を作っているが日本を守るためではない

ロシアによるウクライナ侵攻で、もしアジアでもこのような事態が発生したら日本は大丈夫かとの不安が広がっている。ロシアはウクライナのNATO加盟の動きや、東部地域ロシア系住民への武力圧力に危機をつのらせ侵攻に踏み切ったと捉えられている。

一方日本にはロシア、北朝鮮そして中国と係争問題があり国民に不安が広がるのももつともだ。日本政府が米国と共に警戒するのは中国であり台湾との関係だ。そこで中台問題、いわゆる「台湾の有事」を回避し戦争に至らないようにするにはどうすべきかを考えてみる。

● 中台紛争への軍事介入は違憲

台湾の歴史は清国また日本の支配を経て中華民国として今日に至る。1972年田中首相は中国の周恩来國務院総理と会談し「日中共同宣言」で中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府であるとし、台湾は中華人民共和国の領土の不可分の一部であると表明、6年後に「日中平和友好条約」で日中の国交を回復し、中国は一つとの認識で相互に繁栄の道を歩んできた。

米国も同様な認識で国交を回復している。この前提を考えれば、万が一の中台紛争は中国の国内問題であり、これへの介入はロシアのウクライナ侵攻と同様で、内政干渉となり国連憲章違反となる。日中間には平和

条約があり、もし米国の介入で軍事加担すれば条約は反故となり、日本国憲法第98条二項の「日本国が締結した条約は、これを誠実に遵守すること」に反し違憲である。

● 日中の平和は「台湾の現状維持」

岸田政権は台頭する中国を念頭に石垣島、宮古島などへミサイル基地を新設している。防衛予算は2倍の43兆円とするが、国民の安全を凶らなければならぬ政治が最も重視すべきは紛争に至らないようにすることだ。

集団的自衛権を強引な解釈で容認し米軍と共に軍事的な行動をとれば、政府は一昨年2月のウクライナ侵攻でロシアを非難したが、ロシアと同じ過ちを犯すことになる。

中台関係の安定は東アジアの要である。私たちは紛争に至らないようにするために台湾の現状を維持することを支持し、日本政府には日中平和条約に基づく外交に力を注げと声をあげ続けたい。

そして我が国は、国連憲章第53条他の旧敵国条項で海外における武力行使はできないとの立場も忘れてはならない。



母親になって

私は、ふたりの小学生を育てている母親です。妊娠当初は、絶対女の子。女の子が産まれたら、ベアールックを着て、あんな風にこんな風にと想像を膨らませていました。

しかし産まれて来た子はふたり共男の子でした。夢は叶わなかったけれど、無事健康にうまれて来て、私を母親にしてくれた事を息子達に感謝しています。初めてこの腕に抱いた時の温もり、愛おしさは今でも忘れられません。

好き嫌いの多い長男、アレルギー持ちの次男。やんちゃな男の子ふたりを育てるのは、大変な事もたくさんありますが、スポーツに勉強にと頑張るふたりの存在に日々幸せをもらっています。

100メートル走で市内大会で一位になった事のある長男の夢は、オリンピック選手。「世界中の人と走りたい」だそうです。

その夢が叶う様世界が平和であって欲しいと心から願うばかりです。

